



ホッピーだより



No. 448

2022年3月1日発行

むかわ町穂別博物館

〒054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別 80-6
Tel 0145-45-3141 HP(<http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>)
Facebook([@HobetsuMuseum](https://www.facebook.com/HobetsuMuseum))

研究報告第37号（3月1日発行）(<http://www.town.mukawa.lg.jp/3389.htm>) の内容紹介

白亜系蝦夷層群のアンモノイド化石の多様性変動カーブを補正するためのバイアス指標の評価。

関口修司（つくば市）・佐藤たまき（東京学芸大学），p. 1-10.

より正確なアンモナイト種数の時代変化を調べるための試みを行った研究成果で、北海道各地から産出したアンモナイトのデータを扱われました。

北海道大夕張地域の蝦夷層群函淵層から産出した後期白亜紀の二枚貝 *Periplomya nagaoi* Ichikawa and Maeda (1958).

西村智弘（穂別博物館）・小松俊文（熊本大学），p. 11-18.



1 cm

発見・報告した二枚貝化石；ペリプロミヤ・ナガオイ

Periplomya nagaoi (HMG-2008)



夕張シューパロダム（左）によって水没した函淵峡谷

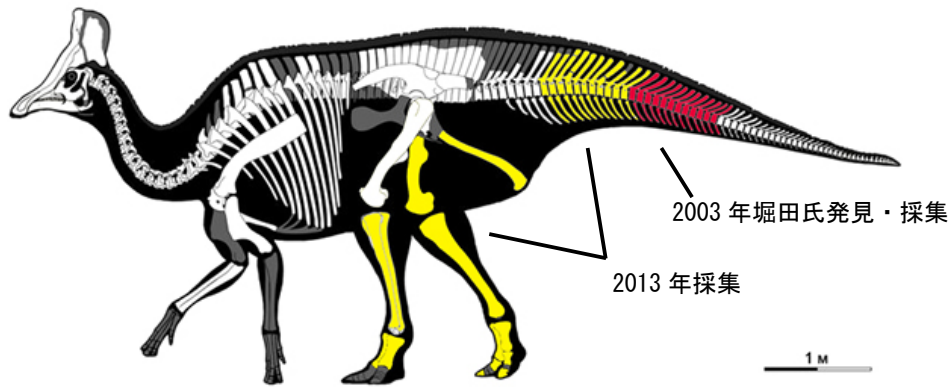
・今回発見した化石の産地。

むかわ町穂別にも分布し、恐竜カムイサウルスや複数のモササウルス類、アンモナイトなどが産出する函淵（はこぶち）層と呼ばれる地層があります。函淵という地名は、夕張市の函淵峡谷を指し、もともとは、この周辺に分布する地層に対して函淵層（函淵砂岩や函淵層群）と名付けられました。この延長部にあたる穂別周辺の函淵層からは化石が多産しますが、函淵峡谷周辺では化石の産出が極めて稀で、貝類やアンモナイトなどはほとんど知られていません。

函淵峡谷が夕張シューパロダムによって水没する前にあたる2012年の地質調査で、新たに海生の二枚貝化石を発見しました。このことから、これが発見された函淵層中部の深牛砂岩は、白亜紀の海でたまった地層であることなどが分かりました。

学芸員 西村智弘

カムイサウルスのこれまで⑩



Olorotitan arharensis Godefroit et al., 2003

2013 年の第一次発掘で採集したと考えられる部分（2013 年発表）。骨格図は同じハドロサウルス科のオロロチタン



採集した約 2 トンの化石入り岩石
（白いものが石こうジャケット）



発掘の休憩中。左から堀田良幸氏（第一発見者）、
西村智弘学芸員、小林快次 准教授（当時）



2014 年発表のカムイサウルスイラスト

2013 年の発掘は 10 月 5 日で終了し、残りの発掘は来年以降へ持ち越されました。2013 年の発掘では、尾椎や後肢などが採集され、全身の約 3 割ほどの骨格が採集されました。採集した化石入りの岩石としては、約 2 トンになりました。

2014 年 1 月に日本古生物学会でこれらの成果を報告するとともに、カムイサウルスが海底に流されたイラストを服部雅人氏に制作していただき、公開しました。

学芸員 西村智弘

むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30 ~ 17:00
(最終入館 16:30)

観覧料	大人	小学生～高校生
個人	300 円	100 円
団体 (10 名様以上)	200 円	50 円

小学生未満：無料
むかわ町の小学生～高校生：無料

2022 年 3 月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

休館日

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一度に観覧できる観覧者の上限は 40 名とし、混雑時には入場制限を行う場合があります。また、告知期間の長さに関わらず臨時休館になる場合もあります。ご了承ください。

